

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
国語	2 東書 「新しい国語」	○ 「話すこと・聞くこと」の教材冒頭には、「言葉の力」に対応する目標や問いかけが示され、何ができるようになればよいのかを、生徒が意識しながら学ぶことができるように配慮されている。 ○ 「読むこと」の教材の後に「広がる言葉」で、文章中の表現と関連させるなどして、語感を磨き語彙を豊かにすることができるように工夫されている。 ○ 「学びの扉」に漫画が採用され、普段の生活の中に潜む言葉の問題点が分かり、主体的に課題を発見できるように工夫されている。また、漫画の続きが気になるように構成されており、「基礎編」で深く読み進めることで、身に付けるべき「言葉の力」が学べるように構成されている。 ○ 物語仕立ての「日本語探検」、ゲームで学べる「文法の窓」などの課題解決型教材により、生徒が主体的に活動できるように工夫されている。 ○ 各領域とも3学年を通しての系統性をもって学習目標が立てられていて、「読むこと」と表現活動が一連の言語活動となるように巻頭に学びのポイントとして「学習のすすめ方」が明示されている。 ○ 題材の最初にキャラクターの生徒の言葉で「問いかけ」があり、てびきのページには学習指導要領に即した言葉で「目標」がある。「言葉の力」で考えるためのヒントが示され、「ふりかえり」で学んだことをまとめられるよう配慮されている。 ○ 「読むこと」の指導に使う教材には、5行ごとに行列を示す数字の他に、「・」をつけて行数を数えやすく配慮されている。 ○ 本編・基礎編・資料編に分かれており、本編で学んだことを基礎編で深め、資料編で広げることができるよう配慮されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
書写	2 東書 「新しい書写」	○ 文字を正しく整えて速く書くための大事なポイントを「書写のかぎ」と名付け、各教材に示されている。 ○ 行書の学習では、学習の流れが明確に示され、楷書との違いを確かめながら、見通しをもって学習できるように構成されている。 ○ 毛筆教材の書面に、他の文字を硬筆で書く欄が設けられており、毛筆で学習したことを硬筆に生かせるようになっている。 ○ 楷書や行書の特徴と共に、実生活の中のどのような場面で生かすことができるかが具体的に示されている。 ○ 各単元の導入部分で「見つけよう」という課題発見のコーナーを設置し、生徒同士で話し合いながら単元の課題とその解決方法を探ることができるよう配慮されている。 ○ 巻末の「書写活用ブック」は、目的に合わせて様々な書式を選んで活用できるように工夫されている。 ○ 各単元の末尾に「生活に広げよう」のページがあり、学んだことをどのように実生活に生かすことができるかが分かるようになっている。 ○ 手紙や年賀状、礼状の書き方など、学校行事や年中行事と関連付けながら学習することができるように配列されている。 ○ 筆の動きや使い方を図で示したり、資料の写真などを多く配置したりすることで視覚的に分かりやすい工夫がされている。 ○ カラーユニバーサルデザイン・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会 地理	2 東書 新しい社会 地理	○ 各章の1ページ目に小学校で学習した用語等が掲載されており、小学校との学びの接続を図った構成になっている。 ○ 各節(章)最初のページの見開きで、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」が掲載され、「読み取る」コーナーや「考える」コーナーが設けられており学習にスムーズに入れるようになっている。 ○ 「知識・技能」を習得するための工夫として、興味・関心を引き出す「導入資料」→1時間を貫く問いである「学習課題」→「本文」→学習課題を解決する「チェック&トライ」の流れで構造化されており、学習内容の定着化を図る工夫が見られる。また学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から、技能を活用するコーナーを設けてあり、資料を活用する力が高められるようになっている。 ○ 歴史・公民の分野の関連ページに直接リンクした二次元コードが付いており、インターネットを使って関連ページの教科書紙面を見ることができる。また他教科と特に関連が強い内容にはDマークコンテンツが付いており、同じくインターネットで他教科書紙面を見ることができる。 ○ 「主体的に学習に取り組む態度」を習得するための配慮として、小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーが設けられ、対話的な活動を効果的に実践できるようになっている。 ○ 地域の在り方の章では、SDGsの17の目標について、地球規模の課題・日本の地域的な課題が整理されており、地域で優先して解決すべき課題が具体的に表されている。 ○ 世界の各州の導入部分にイラストを使用した地図や自然や生活に関する写真、日本の各地方の導入部分には、各地方の「探究課題」に関連した写真が掲載されており、生徒が学習する地域をイメージしやすくなっている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会 歴史	2 東書 新編新しい社会 歴史	○ 各章の始めに、必ず小学校で学習したことを年表や図等を通して振り返り、探究のステップを通して探究活動の課題解決へ繋がるような構成に工夫が見られる。 ○ 巻頭で、歴史上の出来事をイラストで掲載し、小学校からの歴史学習を想起しながら、日本の歴史の大きな流れを大観できるようにしている。 ○ 各時代の分量がバランスよく取り上げられており、各時代の特色を大観して捉え、多面的・多角的に考察し表現できるような特色が見られる。 ○ 単元末での時代の特色を捉える学習では、単元ごとにXチャート、ステップチャート、マトリックスの活用などの多様なまとめ方で構成されており、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫が見られる。 ○ 各ページや「もっと歴史」のページにて、社会的事象等について調べまとめる技能を習得するため、「スキル・アップ」コーナーが設定しており、情報を収集したり、読み取って効果的にまとめる力を養えるような工夫が見られる。 ○ 本文の学習内容を基に、異なる視点や立場で捉えるために「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けて、対話的な学習を促す配慮がされている。 ○ 年表スケールが各ページに掲載しており、学習している時代や年代を確認しやすくなっている。 ○ 「分野関連マーク」「教科関連マーク」を取り入れ、他分野・他教科との関わりを示している。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会 公民	2 東書 新しい社会 公民	○ 各章の導入で、単元を貫く課題をつかむために導入の活動が設けられている。章末では、「まとめの活動」のページで、学習内容を活用した問題が設定されており、主体的・対話的な学習活動を促すように工夫されている。 ○ 毎時間ごとに、深い学びを効果的に実現するための工夫として、「見方・考え方」の項目が設けられており、以前学習した内容の活用や社会的事象を比較できるよう配慮されている。 ○ 毎時間ごとの学習の振り返りではまとめが2つ設定されている。1つは「チェック」という項目で、学習内容の深化を促している。もう1つの、「トライ」という項目では、公民的観点や文中の語句を用いて説明する活動により、言語活動の充実が図られる構成となっている。 ○ 「みんなでチャレンジ」という項目では、グループでの協同的な活動が設けられており、対話的に活動することで、社会的事象を、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○ 本文ページの資料に関して、「集める」、「調べる」、「読み取る」、「考える」という課題が随時設定されており、課題解決のための探究活動が促される構成となっている。 ○ 各章の初めに小学校の社会科で習った言葉の項目があり、既習事項の関連を図っている。 ○ 小単元数は76時間で構成されており、探究活動の課題解決をより深められる構成に工夫が見られる。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会 地図	4 6 帝国 中学校社会科地図	○ 見開きのページを使って、世界地図、日本地図をそれぞれ取り上げ、地図帳の使い方について説明し、地理学習への関心を高める工夫が見られる。 ○ 課題解決学習を進める上で、写真やイラストなど多種多様な資料が掲載されており、地理的認識や地域的特色を理解する上での配慮が見られる。 ○ 感覚的に地形を捉えることができるようにイラスト入りの鳥瞰図が随所に掲載されるなどの理解深化のための工夫が見られる。 ○ 「地図活用」を表示し、読図のポイントを文章で示し、基礎的な知識が習得できるような工夫が見られる。 ○ 日本とのつながりを取り上げた資料「日本との結びつき」のマークが付けられ、空間的相互依存作用や地域に関わる視点について意識付けできるような工夫が見られる。 ○ 日本の領土については、地方ごとに掲載した一般図の中に写真や解説とともに掲載している。北方領土については、年代ごとの国境の変遷が掲載されているとともに、同縮尺の沖縄本島を併記して、大きさや位置関係を捉える工夫が見られる。 ○ 一般図には、必ず高低や土地利用を示すスケールが表示されている。高低は濃淡がはっきりした色使いになっているため、スケールでの確認とあわせて、地理的認識が深まるよう工夫されている。 さらに主題図には、土地利用がわかりやすく色分けされており、産業との関連で地理的特色が読み取れるような工夫が見られる。 ○ 二次元コードをタブレット・パソコンで読み取り、コンテンツが見られるような工夫が見られる。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
数学	61・啓林館 未来へひろがる数学	○ 表表紙 A4 縦は「通常の授業で使用する教科書」として、裏表紙 A4 横は「生徒自らが自分の興味・関心に基づいて数学の学習に取り組む際に使用する教科書」という構成になっている。裏表紙の「力をつけよう」は基礎・基本の着実な定着、「学びをいかそう」は数学が活用されている日常生活・社会の事象からの問題となっており、思考力や判断力・表現力、新たに身に付けた知識・技能を活用する学習活動が展開できる。生徒一人一人の「学びに向かう力」の育成に配慮されている。 ○ 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」という課題を設定し、思考力や表現力を養うとともに、言語活動を中心とした対話的な学びが展開されるように配慮されている。 ○ 応用問題や例題がパターンごとによく整理され、分量も適切である。例題に付けられたタイトルが的確に内容を示していて見やすく、生徒が学習を進めていく上での助けとなる。予習を進めたり復習として教科書を使って振り返ったりする際の生徒の使いやすさや教師の扱いやすさに配慮した体裁となっている。 ○ 脚注の「ループ記号」には、そのページで用いられる数学的な見方・考え方が記載されており、統合・発展的に考察したり論理的に考察したりする力を養えるように配慮がされている。授業を「深い学び」にする上でも大きな手助けとなる。 ○ 式やグラフ、図形においても、色使いに配慮がなされ、大事な部分に生徒の視点が自然に集まる表記となっている。文字は形や大きさが見やすく、色合いも落ち着いており、誰でも使いやすいように配慮されている。重要な定理や基礎的・基本的な知識については、見やすいように枠に入った記載となっており、授業での既習事項の確認や生徒による振り返りが容易になるように配慮されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	4 大日本 理 科 理科の世界	○ 第1学年用の巻末に「探究の進め方」、各学年用の巻頭に「理科の学習の進め方」の頁を置き、科学的に探究する手順や方法などを詳しく解説して学習の見通しを立てやすくしている。 ○ 観察・実験の解説では「目的」に加えて「着目点」を記載し、探究の方向を示唆している。また、基本的な器具や薬品の取扱方法、注意点が巻末資料としてまとめられており、検索しやすく工夫されている。 ○ 「くらしの中の理科」「科学のあしあと」「Science Press」「Professional」などの欄を設け、学習内容が日常生活でどのような活用をされているのかや、科学の発展、防災・職業との関連について話題にしている。また、「つながる」では他教科との関連を示しており、学習者の関心を高め、学ぶ意義・有用性を実感できるよう工夫されている。 ○ 「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「話し合おう」等の欄では、キャラクターの会話を通して、他者との考え方の交流・対話的な学習を促している。 ○ 単元の導入で、「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」を示すことで、学習内容を体系的に捉え、単元全体の見通しを立てやすくしている。また、「探究活動」・「発展」の頁の設置によりさらなる深い学びや高校での学習内容への関心をもたせ、つなげる工夫をしている。 ○ 「思い出そう」の欄では、本時の学習に関連する既習事項の確認をさせており、スムーズな学習への取組を支援している。また、定着が難しい法則等には、具体的な問題と解説を付けて説明している。さらに、まとめの頁や単元末問題・読解力問題の充実により、基礎的・基本的知識の確認や活用ができるように配慮されている。 ○ 単元の配列には、観察・実験に適した時期を考慮し、継続的探究を促すなど主体的に探究する能力の育成に配慮されている。また、学年間の調整がされており、理科室や備品等の不足が生じないように、教科経営への配慮がなされている。 ○ わかりやすく豊富な写真や図表等の資料が見やすくレイアウトされている。資料には県内の情報が多く取り上げられていて、生徒にとって身近に感じやすく関心を高められる。また、ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字ポイントやルビ・吹き出し内の文章、色遣いなどにも発達の段階および個に応じた配慮がなされていて、読みやすく探究の過程を追いやすい。

令和3年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音 楽 一般	27・教芸 中学生の音楽	○ 表現および鑑賞の教材において、身につけるべき音楽科における三つの資質・能力が同じ場所に明記され、生徒が意識して学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 表現および鑑賞教材において、丁寧に示された活動の手順や個々の思いが書き込めるワークシートを充実させ、見通しをもって主体的・対話的で深い学びに導く工夫が見られる。 ○ 役割をもった子どもと大人のキャラクターの吹き出しにより、具体的にどの部分に注目して学習を進めたらよいか、どのようなことをどのような流れで話し合えばよいかを例示し、より深まりのある言語活動や協働的な学びを促す工夫がされている。 ○ 我が国の様々な伝統音楽や伝統芸能では、音楽の一部を楽器や口唱歌で生徒が無理なく体験する活動を取り入れ、鑑賞と表現を関連づけた題材構成となっている。 ○ 9年間の系統性を重視し、表現と鑑賞の教材がバランスよく配列されている。主要教材に加えて、ねらいに即した学習内容が有機的に配置されており、生徒の実態に応じて発展的な学習や教材の学習活動の分量を弾力的に増減できるような構成となっている。 ○ 作詞者や作曲者、親しみのあるプロフェッショナルな演奏家からのメッセージや写真の掲載、中学生の心に響く楽曲やポピュラー音楽の選曲等、生徒が音楽に対する興味・関心をもって主体的に学びに向かうよう工夫されている。 ○ 特別支援教育の視点に立ち、色覚等の特性に配慮した配色やUDフォントの使用、レイアウトや囲みの形の工夫等、視認性の高い紙面構成を工夫している。 ○ QRコードが各教材に掲載され、学習に役立つ動画や音声などの情報を視聴、閲覧することができ、生徒一人一人が主体的に深く学ぶことができるよう工夫されている。

令和3年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽 器楽	27・教芸 中学生の音楽	○ リコーダー、ギター、5種類の和楽器（篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓）、その他15種類の打楽器を取り上げており、楽器の特徴に関心をもち、幅広い音楽文化への理解を深められるよう配慮されている。 ○ 生徒が意見を交流し、学びを深めることができるよう、「知識・技能」に関するコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家からのメッセージにより自分の考えをより広げたり深めたりしながら、主体的・対話的な深い学びに向かうような工夫が見られる。 ○ 和楽器の教材が全体の約4割である。口三味線や唱歌を歌う活動が取り上げられており、生徒が親しみや実感をもって音楽に接することができるよう構成されている。 ○ 和楽器を用いた無理のないアンサンブル曲や、中学生の心に響く曲が多数掲載されており、音楽を愛好する心情を育てながら生徒の実態に応じて学習が進められるよう配慮されている。 ○ 豊富な種類の楽器の細部にわたる写真を用いているため、生徒が楽器に対する興味・関心を高めながら学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 巻末資料の「ギター/キーボードコード表」は生徒の視点からの分かりやすい模式図を掲載しており、主体的に学習を進められるような工夫が見られる。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
美術	116・日文 ・美術1 ・美術2・3上 ・美術2・3下	○ 文字と写真とのバランス・配置が工夫され、大変見やすいレイアウトになっている。メインとなる写真が大きいので、学習の目的がつかみやすい。また、吹き出しの形で作者の感想を紹介しているので、見やすさはもちろん、工夫や表現のポイントがつかみやすい。目次・教科書構成・マークの解説等が見開きで掲載されており、一目で確認できる。各ページ毎のレイアウトや表記に様々な工夫があり、学習で使用しやすいという教科書の機能性とともデザイン性も追求している。 ○ 中学生が見つけた生活の中の美の写真やレポートなどが掲載されているなど、生活や社会の中の美術についての内容が充実しており、具体的な記述や紹介で分かりやすい。また、学習内容と社会へのつながりや広がり意識して、ページレイアウトなども行っている(和菓子や伝統工芸の紹介等)。 ○ 各題材で「造形的な視点」が入っており、グループでの話し合い活動の際に論点になれるような工夫がしてある。また、鑑賞題材において、問いかけ形式での表記がしてあり、見て考えられる内容になっている。主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫が見られる。 ○ 作品制作の上で活用する機会が多い「学びを支える資料」が見やすく、また内容も充実している。 ○ 題材数が多く、またそれぞれの領域に短時間でできる題材も設定してあるので、各学校の実態に応じた題材を選び、学習を進めることができる。 ○ 鑑賞内容では、仏像を鑑賞する視点などが掲載してあり、学校行事に生かせるようにしている。また、屏風の写真を実際の折り目に合わせて折れるように、見開きで配置するなどの工夫がある。

令和3年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
保健体育	224・学研 中学保健体育	○ 章の始まりには、学習の目的・学習の進め方・学習内容に関する情報が掲載されており、学習の見通しや興味関心がもちやすいよう工夫されている。 ○ 1時間の学習の流れが4段階で構成されている。各段階とも課題解決や目標達成に向けた「学習方法」が多数紹介されており、主体的に学習を進めやすくなっている。 ○ 「もっと広げる深める」「探究しよう」等で学んだことを活用・実践するページが設定されており、学習の深化や発展的な学習につながる内容となっている。また学年末には振り返りのページも設定されており次年度へ継続する学びへとつなげることができる。 ○ 学習した内容と関連する職業の記載や、学年毎に主となる色を中心とした配色、オリジナルキャラクターの設定など細かな点まで工夫されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
技術	2 東書・技術 701 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	○ 各内容A～Dの内容の導入ページには学習内容と共に「技術の見方・考え方」と「技術の最適化」について具体例を掲げてイメージしやすくまとめられており、学習の見通しがしやすくなっている。 ○ 「技術の天秤」「最適化の窓」などを活用し、生活や社会とのつながりを意識したり、技術を多面的に評価したりすることで、技術の最適化を見出すことができるように配慮されている。 ○ 「TECH Lab」による基礎的な技能の解説や「問題解決例」など、学習を深めるためのページやコラムによって、基礎技能の習得や実践的・体験的な活動を図りながら、社会との関わりなどについて理解を深められるよう配慮されている。 ○ Society5.0 や SDGs, 「防災」・「環境」などを重視して取り上げており、社会とのつながりを意識して、今後の技術の在り方を考えられるよう工夫されている。 ○ 各内容とも、学びの過程「問題解決のプロセス」が統一化されている。各ページにプロセスの現在位置が記されていて、生徒が学習の見通しをもちながら活動に取り組めるような工夫が見られる。 ○ 「問題解決例」として実習課題を多数掲載し、さらに「問題の発見」「課題の設定」「評価・改善」のポイントを掲載し、生徒が主体的に考えながら取り組める工夫がされている。 ○ 学習を深めるためのページやコラム「技術の匠」「技術のとびら」を掲載したり、「技術の工夫」を各ページに取り入れたりすることにより、興味関心をもつことができるような工夫が見られる。 ○ 「リンク」や「他教科」「小学校」のマークを用い、既習事項や他の学習を関連付けて考えることができるよう配慮されている。 ○ インターネット上のコンテンツを利用して、より深く学ぶことができるように工夫されている。 ○ 各編の色分けや、インデックスの表示など、検索性を高める工夫が見られる。また、ユニバーサルデザインに配慮し、文字や写真、イラストなどが見やすくなるよう工夫されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
家庭	9・開隆堂 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	○ 持続可能な社会の構築に向け、SDGsの考え方が全ての内容と関連付けられており、各課題について考えを深められるよう工夫されている。 ○ 小中連携の観点から、小学校での学びを振り返り、基礎から応用へと発展する内容構成になっている。各分野のまとめでは、学びを実生活へつなげる工夫が見られ、「生活の課題と実践」に生かせるよう配慮されている。 ○ 学習内容に即した実践や実験は、該当ページに示されたQRコードの写真や動画で確認でき、基礎技能の習得に効果的である。 ○ 本文、写真や図、資料等の配置が工夫され、誰も見やすい紙面構成となっている。また、実習や製作の手順が大きく掲載され、左から右への横流れの表記で統一されている点も紙面の見やすさとなっている。 ○ 表紙及び本文の文字・色ともユニバーサルデザインを採用し、視覚的な面でも配慮されている。 ○ 総ページ数は3社の中で1番多いにもかかわらず、軽量化した用紙の使用により、1番薄く軽い冊子となっている。 ○ 新規の内容（蒸し調理、高齢者との関わり）に関しても中学生の視点から取り上げ、主体的に学習できるよう配慮されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
英語	2・東書 NEW HORIZON English Course	○ Unit では、文法や語彙の知識を使って伝える技能を身に付けられるように工夫されている。単元末には、複数の技能を使って統合的なパフォーマンス活動を行い、日常的な話題や社会的な話題についての発信に結び付けられるように配慮されている。 ○ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが明記されている。実生活に即したコミュニケーション活動が3年間を通して計画的に配置されており、統合的なパフォーマンス活動を行い、自己表現ができるように配慮されている。 ○ 小中接続期が充実している。小学校の既習表現を織り込みながら、音中心の学習から段階的に文字につなげている。映像で場面に合う表現への気付きを促し、適切な表現で伝えられるようにするための工夫がある。 ○ 題材、活動についての学習の見通しや到達目標が、単元の冒頭に提示される等の配慮がなされている。テーマに即した場面設定がなされ、多様な言語活動の展開を目指した配列に特色がある。 ○ 1年生では、手書きに近いUD書体を用いて文字の習得に負担がないようにする配慮が見られる。また、A4版でページ数を抑えるとともに、単元を貫く問いや学習内容の参照ページを記載するなど、主体的に学びに向かうことができるような工夫がされている。Unitの最初の写真とQuestionで生徒の興味関心を高められるように工夫されている。また、単元のゴールも明確に示されている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
道徳	116 日文 あすを生きる	○ 巻頭で道徳的価値の一覧や写真を入れた学び方が配置され、生徒が見通しをもって学習に取り組める工夫がある。 ○ 教材の冒頭に主題名を示し、生徒が道徳的価値と関連付けて学ぶことができるようにしている。展開では「考えてみよう」で教材のねらいに迫るための発問の例を示し、終末「自分に+1」で、授業で学んだことを生徒がこれからの自分に生かすための発問の例を用意し、教師が授業の流れを見通せる構成になっている。 ○ 「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材には「学習の進め方」が設けてある。タイトルの下には授業で何を議論するのか、どのような体験を通して考えるのかを示し、展開では、学習活動や体験場面を写真やイラストで示し、活動内容をイメージしやすくしている。 ○ 発達段階への配慮とともに、カリキュラムマネジメントを取り入れるよう、他教科、学校行事などの他の教育活動や日常生活体験を生かして授業の展開ができるような配列がしてある。また、SDGsといじめ防止に重点を置き、複数の教材をユニット化することで、多面的・多角的に学習ができるように工夫しており、身近な社会や将来との関わりを主体的に学習できるようになっている。 ○ 教材の内容理解を助けるコラムや家庭や各教科各地域などに関連したコラムを掲載し、道徳の学びを広げ深める工夫がある。 ○ 教科書に対応した別冊の「道徳ノート」に、自らの考えと友だちの意見、新しく発見した道徳的価値を書くことを通して、多面的・多角的に考えられるようにしている。また、学習状況や道徳性に係る成長の様子がわかり、指導と評価に役立つ。ノートにはフリースペースが設けられ、担任の授業スタイルに対応できるように配慮されている。